

まほろば秦野通信

令和元年12月9日

タイトル	災害時の避難場所や遺体の仮埋葬区域を提供する協定を (公財)相模メモリアルパークと締結
When (いつ)	12月12日(木曜日) 午前10時~10時半
Where (どこで)	市役所本庁舎3階 市長応接室
Who (だれが)	公益財団法人相模メモリアルパーク(愛甲郡愛川町三増109-2) 代表理事 白崎 五百子氏
What (なにを)	平成23年に発生した東日本大震災では、大勢の方が犠牲となり、最大震度7を観測した地震やその後押し寄せた津波により斎場施設が被害を受け、宮城県内では仮埋葬として「土葬」が行われました。
Why (なぜ)	本市でも、都心南部直下型地震が発生した場合震度5弱~震度6強が予想され、その地震は今後30年以内に70%の確率で起こるといわれています。 その不測の事態に備え、避難場所の提供や遺体の仮埋葬等について、協定を締結します。
過去の実績	遺体の仮埋葬についての協定は初めてです。
問い合わせ	防災課防災担当 担当:竹内 電話0463(82)9621